

京都フィロムジカ管弦楽団

第43回定期演奏会

メンデルスゾーン／序曲『ヘブリディーズ諸島（フィンガルの洞窟）』
Felix Mendelssohn Bartholdy : Ouverture "Die Hebriden"

別宮 貞雄／第3交響曲『春』

Bekku, Sadao : Troisième Symphonie "Le Printemps"

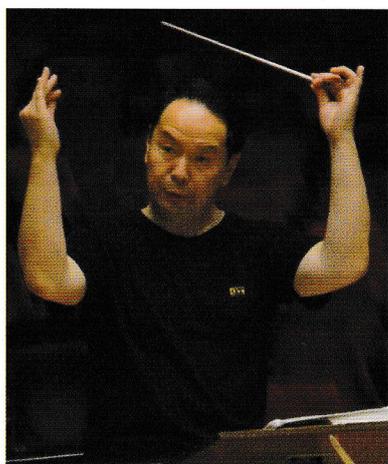
ラフ／交響曲第3番『森にて』

Joachim Raff : Sinfonie Nr. 3 "Im Walde"

2018年6月24日(日)

午後1時開場 2時開演

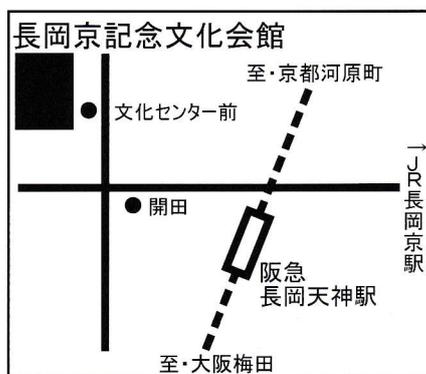
1時15分よりロビーコンサートを開催いたします



指揮
中村 晃之



京都府 長岡京記念文化会館



阪急・長岡天神駅
下車徒歩8分。

JR・長岡京駅より
バス7分、
「開田」または
「文化センター前」
下車すぐ。

前売券800円(当日券900円)全席自由席

【チケット取り扱い】

京都芸術センター(窓口販売のみ10:00-22:00)、京都府長岡京記念文化会館
JEUGIA三条本店3階APEX

※ホームページでのご予約も可能です <http://www.kyotophil.com/>

【お問合せ】070-6506-4032 ticket@kyotophil.com



京都芸術センター
制作支援事業

京都芸術センター

- ・お車でのご来場はご遠慮ください。
- ・乳幼児等就学前のお子様のご同伴、ご入場は固くお断りいたします。
- ・係員の指示に従っていただけない場合はご退場いただくことがあります。

後援：長岡京市
長岡京市教育委員会

京都フィロムジカ管弦楽団 第43回定期演奏会

フィロムジカの初夏の演奏会。今回は自然を描いた魅力あふれる作品たちが演奏されます。

1曲目は、海を描いた序曲『ヘブリディーズ諸島（フィンガルの洞窟）』。作曲したメンデルスゾーンは、ヴァイオリン協奏曲等で人気を博するドイツの作曲家です。スコットランドにあるヘブリディーズ諸島は岩でできた島々で、特に玄武岩の柱状節理でできた海縁の絶景・フィンガルの洞窟で有名です。メンデルスゾーンは10分程度の短い曲の中に、荒波の厳めしさや、海中の大聖堂のような洞窟の威容を描き出しています。

2曲目は、山を描いた第3交響曲『春』。作曲した別宮貞雄が、春スキーをしながら着想したとされる曲です。山の雄大さ、雪景色のきらめき、空気の清涼さ、そして、生命が躍動する春を目前にした期待感が表現されています。なお、この曲は第1楽章を独立させて『祝典序曲』として演奏することも可能で、フィロムジカは2000年の第8回定期で、その形で演奏しています。実に世紀をまたいでの全曲演奏となります。

3曲目は、森を描いた交響曲第3番『森にて』。作曲したラフは、スイスに生まれドイツを拠点に活躍した19世紀の作曲家です。フィロムジカは第37回定期で交響曲第2番を演奏しており、ご記憶の方も多いことでしょう。ラフの魅力である、明るく瑞々しい響きと、生命力が爆発するような躍動感が、再び聴衆を魅了するに違いありません。ヨーロッパ文化の心の故郷ともいべき森。この作品は、森の美しさ、奥深さ、そして恐ろしさや神秘性を、見事に描き出した傑作です。音楽による森の散策をお楽しみください。

指揮者は中村晃之氏で、第21回定期以来久々の登場になります。知られざる傑作の紹介に長年尽してきた中村氏は、今回の演奏会にふさわしいマエストロです。作品への愛に満ちた名演が繰り広げられることでしょう。

指揮 中村 晃之 (なかむら てるゆき)

1962年生まれ。京都府出身。関西学院大学在学中より本格的に指揮を学び、大友直人、湯浅卓雄氏の副指揮者を務めた。指揮法を小松一彦、小林研一郎、クルト・レーデル、パスカル・ヴェロ各氏のマスタークラス等において学ぶ。1997年、彩の国さいたま芸術劇場で開催されたクルト・レーデル指揮講習会コンクールにて第二位奨励賞を受賞。

1988～2008年、かぶとやま交響楽団（兵庫県西宮市）指揮者。2010～2011年、みなとフィルハーモニー（東京都港区）音楽監督。2014～2018年、杜の都 合奏団（宮城県仙台市）指揮者。最近では2017年から2018年にかけて演奏された、マーラー交響曲連続演奏会（第5番、第9番）において特に好評を博した。並行して仙台、関西、首都圏の社会人オーケストラで、積極的に客演指揮や指導を行っている。

管弦楽 京都フィロムジカ管弦楽団

1996年創立。知名度の低い傑作に光を当てる斬新な選曲を身上としており、日本初演・関西初演も多く手がける。遠く北海道や九州からも聴衆が駆けつけるなど、その姿勢は全国的に注目されている。また、若々しい熱気を前面に出した激しい演奏に定評がある。年2回の定期演奏会のほか、依頼を受けての演奏会も精力的にこなす。特定の母体を持たない珍しいアマチュアオーケストラで、団員の本業や出身地は様々であり、東北や東海など遠方在住の参加者もいる。学生オーケストラの経験のない人や大人になってから楽器を始めた人など楽器歴も様々に異なる奏者たちが集って音楽を作り上げている。団名の「フィロムジカ」は、「音楽を愛する」という意味の造語である。

新 入 団 員 大 募 集 中

私たちと一緒に演奏しませんか？お気軽に練習にお越しください。団員一同お待ちしております！
遠方からの参加も歓迎します。関西地区以外の方々もご興味があればぜひご連絡ください！

●募集パート ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバス **(ヴァイオリン・ヴィオラ急募!!)**
オーボエ・ファゴット **(ファゴット急募!!)**

トランペット / 打楽器(打楽器は諸条件について要相談)

(参加資格) 特にありませんが練習に出席できること。学生の参加も歓迎します。

(練習日時) 原則日曜日(午後1～5時)、春と秋に合宿練習(大津市内)

(練習場所) 京都芸術センター、伏見区など京都市内の各所のほか、大津市など。

(諸費用) 団費3000円/月(学生は1000円)、演奏会参加費など

※遠距離割引、学生割引、家族割引などあり(ご相談ください)

Webサイト(<http://www.kyotophilos.com/>)では、過去の演奏曲も紹介しております。是非一度ご覧ください。

入団・見学に関するお問い合わせ先 E-mail: recruit@kyotophilos.com

<京都フィロムジカ管弦楽団 第44回定期演奏会>

2018年12月23日(日) びわ湖ホール(大ホール) ブルックナー/交響曲第5番 ほか